



# スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル4F (3971) 4144

ホームページ: <http://www.tokyoskiky.org/>

No.322

発行

2010.9.1

発行責任者・小川 洋

# 乗鞍レーシングキャンプ



## 目次

乗鞍レーシングキャンプ報告	1～2頁
第43回定期大会発言集	3～8頁
インフォメーション	9頁
8月・9月のカレンダー	10頁

1～2頁
3～8頁
9頁
10頁

# 今回の乗鞍も収穫大でした

埼玉スキー協 平沢千里

乗鞍のレーシングキャンプは4回目でしたが、初めて東京スキー協の企画に参加させていただきました。

連休の乗鞍は3日間晴天で、遠くは槍ヶ岳まで望め眺望も満喫しました。

ただしほっぺと鼻の頭と首が日焼けでヒリヒリ、おまけに雪渓の気温も上がったために、毒虫も大発生、下唇を刺されてタラコ唇になってしまいました、トホホ。

今回も内容は充実していました。3日間ともフォールラインに上体を向け続け、体を回さない練習をした後は、ひたすら様々なリズム変化のポールセットを滑りまくり

ました。というのも、今回はスペシャルゲストがいらしたのです。全日本学生選手権で3位というすばらしい成績を持っている宿の息子さん・たくむさんが3日間一緒に滑ってくれたのです。さすが！滑り方もスピードも質が違うとは思いましたが、体の動かし方など大変参考になり、視覚からも刺激を受け収穫が多い3日間でした。

綺麗なお宿とおいしくたくさんのご飯と東京スキー協のみなさんの楽しい雰囲気、とても楽しい3日間でした、ありがとうございました。



## 遅くなりました。東京スキー協第43回定期大会におけるの発言を掲載します。

●コロポックル：伊藤代議員 マラヂェツスキークラブの設立・スキー協加盟

歌ごえの店・ともしびとして30年前から「冬のページェント」を開催し、東京スキー協へ指導員派遣の依頼をしてきた。当初は歌声交流が中心だったがスキーを上達したいという参加者が増えてきた。ともしびの会員の中には東京スキー協の指導員になり、指導員派遣に応じてくれる人も出てきました。4年前にスキークラブを立上げ「冬のページェント」も含め年4回の行事を行ってきました。クラブの目的の一つに「冬のページェントを盛り上げて生きたい」ということもあり、今回東京スキー協に加盟し、指導員に挑戦することにしました。残念ながら今回は落ちてしまいましたがこれからも頑張っていきますので宜しくお願いします。

●雪けむり：宿谷代議員 スキーの安全についてとSTTについて

昨シーズン会員が指導員研修会でケガをした。関係者にご迷惑をおかけしたことをお詫びしたい。ただ、スキー場の安全管理にも問題があると思うのでスキー場にも改善を申し入れて欲しい。

現在2名の指導員がいるが、クラブ発足以来、会員拡大を位置づけその為に複数の指導員を誕生させるために積極的に活動してきたがレベルの差があり、なかなか合格しない。スキー協にはSTTという制度があるがクラブでは実施できない。また東京スキー協としても実施していない。指導員を受験するものにとっても会員のスキー技

術上達のためにも重要な制度だ。位置づけて取り組んでほしい。

理事会運営ではもっとクラブに対する助言や具体的な援助を行ってほしい。

●こなゆき 兼平代議員 視覚障がい者スキー「雪国教室」の取組みについて

石原都政になってから雪国教室を労働組合の「プロパガンダとしての取組みだ」とされ、父母とボランティアによる自主的な行事として「葛飾盲学校」という冠を外さざるを得なくなった。参加者もだいぶ減少し昨年からは指導員は1万円、指導員資格を持たないボランティアは3万円を出して参加している。

こういう状況なので正式に東京スキー協への指導員派遣要請はできないので個別に依頼させて参加している。「雪国教室」は全盲かそれに近い参加者が多い行事なので非常に手厚いサポートが重要になっている。経済的な負担も多く、リフト代やレンタルスキー代を含めると一人当たり5万円以上、原則的に家族ずれ参加ですので10万円以上の負担になっている。

そんな中でもこの行事の意義は深く、ある少女のお母さんは「小学校に入るまでオムツが取れませんでした。ところが今は目の前でスキーを履いて滑っています。」と涙ながらに話してくれたり、あるダウン症の子供のお母さんは「はじめは雪が怖くて宿舎から出なかった、翌年は雪の上を歩き、その翌年は友達にソリに乗せてもらい、その翌年は自分でソリももって斜面を登るようになり、今年はどうとうスキーを履きま

した」と感動を寄せてくれました。本人だけでなく家族の喜びを引き出す行事なので大変なやり甲斐を感じています。

これからもスキー協としてより以上のサポートをお願いしたい。

●ウィークデースキークラブ 三浦代議員 他県との合同行事のお誘い

ウィークデー層の増加に伴い、他県やクラブを超えた交流と技術向上をめざして年1回、越後湯沢近辺のスキー場で行事を開催しています。

今年は日曜日を含めた日程で50人規模での参加も目標に取り組みます。新潟・魚沼スキークラブ、神奈川・悠々スキークラブ、埼玉・夢チャレンジ、そして東京・ウィークデースキークラブで実行委員会を組んで実施しています。内容としては指導員によるレベルアップと現地スキー学校に依頼したポールレッスンを行って参加者からはだいぶ好評を得ています。是非、皆さんも参加して下さい。

●日野スキークラブ「風花」 山田代議員 技術向上についてと競技大会について

毎年、会員が加入してくる理由はスキーが上達したいというのが多いがクラブでなかなか対応しきれない。そこで全国や東京などが開催する指導員研修会にクラブの推薦があれば指導員以外でも別枠で参加できるようにできないか検討して欲しい。

スキー競技大会について、毎年楽しみにしているが70歳になって目標がないとモチベーションが上がらない。現在、60歳以上はすべて同じクラスですが、60～64歳65、～69歳、70歳～74歳、75歳～79歳という風に5歳刻みにしてほ

しい。そうすれば当クラブからも励まし合いながら参加できる。

スキーマイトについて当クラブは100%読者だ。機関紙なのだから会員の皆さんは購読しましょうよ。全部読む必要はないけれど、興味がある記事は結構掲載されているし良い雑誌だと思います。

●エーデルヴァイススキークラブ 増田代議員 クラブ交流平和駅伝について 30周年記念行事

昨年は日程を変更してもらい、参加できないクラブもあったようですが何とか成功することが出来ました。今年も10月末の日程で同じ会場で開催したいと打合せをしています。コースは多摩湖の堤防の上と下を走るコースでまちがい難くなっていますが高低差があるのでちょっと大変ですが、みなさん奮って参加して下さい。

今年30周年のイベントを蔵王で開催しました。開催するなかで旧会員に声を掛けて運営委員になってもらったり、地元山形のスキー指導員にも手伝ってもらい行事内容を工夫したりしながら6名の会員を増やすことが出来ました。4月には新入会員歓迎会を行ったりしてフォローをしています。その後の登山や山スキー行事にも参加しています。行事の報告集や機関紙配布なども含め地道な取組みが実を結んでいると思う。

●みなとしゅぷうる 大川代議員 クラブ活動について

会員は一進一退を繰り返してる。当クラブは「柵きかんし」を中心にした職域のクラブです。独自の取組みがなかなか厳しくて運営委員会で相談して、同じ江東区の「てんとおむしスキークラブ」との交流を位置

づけて取り組んでいます。会員の要求にも耳を傾けて努力していきたいと思えます。

#### ●てんとおむしスキークラブ 鈴木代議員 クラブ活動について

この1年間、オフシーズンも含めて積極的に行事も開催してきました。指導員養成では受験者応援ツアーを開催してきました。

「江東スキー・スノーボードを楽しむ会」では「みなとしゅぶうる」の指導員にも協力してもらい49名で行事を開催しました。その中から新会員を向かい入れることにも成功しています。

残念ながら競技大会には参加者がいませんでした。また、「スノージャンボリー」にクラブで参加しようと呼びかけましたが3人しかいなかったため、日程を短くして低料金で独自に行事を開催したら18人が参加しました。スキー人口が減少している現状を踏まえて東京スキー協としても「近い、安い、短い」行事も検討してはどうだろうか。

#### ●モルゲンローテスキークラブ 小柳代議員 東京スキーとしてできること

三多摩の兄弟スキークラブで合同行事を年2回開催しています。一つは29年目を迎えた「越年・田沢湖」です。昔は大型バス6台なんていう時代もあったが今では50人を集めるのがやっとです。もう一つは27回目を迎えた親子スキーです。こちらは74名・大型バス2台の行事です。

その中で個々のクラブではなかなか出来ない内容をクラブが合同することで実施しています。また、過去の財政的な蓄積もありショートポールセットを購入したりしています。

競技大会や山スキー教室、指導員養成等は

当然クラブでは出来ないことです。STTも検定員の手配や参加者の規模などを考えるとなかなかクラブでは出来ないことの一つです。自分の滑りに客観的な点数を付けてもらうことはとても大切だと思います。是非STTを柱にした行事を東京スキー協として開催してほしい。

#### ●高島平スキークラブ 青山代議員 会費 について

初めて総会に参加して会費3,500円の使い道がはじめて分かりましたが、全国スキー協や都連盟の決算・予算について資料があれば公開してほしい。高島平スキークラブは今年4名の会員が増えています。

#### ●高島平スキークラブ 鈴木代議員 スノ ボードの取組み

高島平スキークラブには加盟していますが、プロスクールの講師をしている関係や全国スキー協のスノーボード部のテクニカルアドバイザーの活動等をしている関係でなかなかクラブ行事に参加しきれない現状にあります。

全国スキー協の中にスノーボード部が出来て5年になります。活動は活発になりつつあります。東京スキーでも1人、2人と指導員が誕生していますが、まだまだ独自に行事を開催できるところまでにはなっていないのが現状です。是非全国スキー協主催行事をクラブとして位置づけて参加して欲しい。東京には約6万人のスノーボーダーがいますかSAJやSIA、JSBその他の団体に加盟しているボーダーは1,000足らずという現状です。資格維持のために組織に入っている人がほとんどという現状の中でスキー協の優位性を発揮して組織拡

大を行っていきましょう。

●練馬ヒューマンズスキークラブ 干川代議員 クラブ活動

会員から使わなくなった板や用具を集めてストックしてきチューンナップやワックス掛けの練習に活用している。きっちり整備して行事参加者にレンタルしている。指導法の学習会をもっと位置づけてほしい。クラブ合同の行事を開催することで会員の多彩な要求に応えることもできるし、お互いのクラブの経験にもなると思う。その為にシーズン前に各クラブの行事を公開し可能なら一緒に出来るように情報公開をして欲しい。S T Tについてですが、毎年目合わせに参加できれば良いのだが、なかなか参加できないので着眼点を明文化して誰でも共有できるようにすることが重要だと思います。

●三多摩スキークラブ 長部代議員 スキーマイトについて

スキーマイトの編集にたずさわって5年になります。スキーマイトを拡大してゆくには会員がどんどんスキーマイトに登場することが大切だと思います。また皆がメイトをどう活用をするかを他人事と考えずに意見を出して実践することが大切だ。メイトの記事を読むと東京スキー協の記事が少ない。もっと理事会で論議してもらいメイトに記事を書いて欲しい。ぜひメイトに東京スキー協のコーナーとかを作って頂きたい。そのぐらいの勢いでメイトを活用して読者拡大をして欲しい。

●練馬ヒューマンズスキークラブ 近藤代議員 (教育技術局長) S T Tにいて  
いままで総会でS T Tについて3名もの発

言があったのは初めてだ。東京スキー協は指導員養成については実技伝達とレベルアップを開催しているがS T Tを行っていなかった。他府県では認定会時にS T Tによる総合滑走部分が免除になっている場合が多いようです。東京としても実施していきたいと考えています。

レベルアップの後、検定会の前までの間にS T T行事を開催するように調整してゆきたいと思います。

受験者だけでなくこれから指導員を目指す多くの方々の参加を飛びかけます。

レベルアップをして行く為には良い条件の時だけではなく最悪の条件の時にも滑って欲しい。ある程度の斜面で荒れたバーンで練習してほしい。そうしなければ本当の実力はつかないと思います。是非とも悪い条件でたくさん滑ってほしい。

●トライアルファミリースキー 和田代議員 親子スキーについて

4年前に指導員に合格しました。トライアルファミリースキークラブの親子スキーに小学校1年生の時から15年連続参加しています。恩返しのためもあり先輩から「指導員受かるんじゃない？」と言われて1年目は落ちたのですが2年目に無事合格することができました。

親子スキーは不況という社会情勢もあり少しずつ参加者が減ってきていますが過去には大型バス3台を連ねて開催したこともありました。去年は78名と予想以上に多い参加者になりました。指導員が全然足りませんでした。トライアルファミリーは結構会員がいるのですが、19歳の僕の弟に言わせると同年代がいなくてあまり面白くな

いといっています。若い人をどんどんクラブに入れていけば活気のあるスキー協になると思います。

#### ●スラロームスキークラブ 末広代議員 競技スキー委員会

スキー協通信のインフォメーションのコーナーで行事の宣伝はしているし、行事報告も不十分ながら通信に掲載はしているが、育てるという観点ももって頂きどうか暖かい目で見て欲しい。

今期は、宣伝も十分に行い参加者も増やしたいと思います。「競技スキー委員会」というとバリバリ競技する人たちばかりだと誤解されそうですが決してそういう人ばかりではなく行事もポールを立てないフリーレッスンも行っています。これはすごく好評で「合理的で疲れない滑りが出来るようになった」という声も聞こえていますので是非、皆さんも参加して下さい。

#### ●高島平スキークラブ 鈴木代議員 スノーボードの訴えⅡ

先ほどトライアルファミリーの代議員から「スキー協には若い人がいない」というご発言がありました。スノーボードはそういうことはなく若い人が多いので是非頑張りたい。その上で東京スキー協として個人会員制度はないのでしょうか？若い人は「クラブに入れ」といってもなかなか入ってこない。とりあえず個人会員としてスキー協に加盟して、その上で気に入ったクラブがあれば入るとか個人会員が集まってクラブを作るとかという制度を検討して欲しい。

#### ●ラ・ランドネススキークラブ 矢口代議員 山スキー行事

東京スキー協の山スキー行事でラ・ランド

ネが担当した行事が2つありました。一つは「かぐら」で開催しようとした行事は参加者も少なく天気も悪かったので中止にしました。もう一つの尾瀬・至仏山の行事は当クラブの女性にリーダーになってもらいました。女性のリーダーというのは東京でも全国でも始めてだと思います。これからほとんど女性リーダーが増えていけばと思います。全国山スキーでは東京が屋台骨を背負っているといっても過言でもない。

全国スキー協全体で開催している山スキー行事は年間250を越えています。

この情報は公表していますのでどの山にスキー協関連の人達がいるかが分かる様になっています。それにより雪の状態やコースの情報などを交換することが出来ます。インターネットでも公開しているので大いに活用してほしい。北海道や青森など地方の行事を行う時に地元のスキークラブと交流したり情報を交換したりすることも出来る。ボードの人達もどんどん増えている。山スキーのエリアではボードもスキーも仲間です。自然の中では命に関わるので横のつながりも大切にしながら活動し会員を増やしていきたいと思います。

#### ●銀嶺スキークラブ 矢吹代議員 決算について その他

行事収入の項目で空白になっているところがあるがどうなっているのか？

スキーメイトについて購読申込みの用紙がなく購読したくても手続きができない場合もあるので改善してほしい。

競技スキー委員会の行事については赤字・黒字の浮き沈みがありますが年間トータルで見て欲しい。最近は新しい参加者も増

えてきているし、魅力的行事が一杯です。宣伝の方法が不十分な事もありますので改善をしてきます。

●ウィークデースキークラブ 木村代議員  
平和スキーまつりの宣伝

5年前から行事名を変更して長野や石川など東京以外の人達とも実行委員会をつかって取り組んでいます。特徴として「スポーツは平和と共に」をアピールしたパレードを開催しています。是非参加して下さい。

●エーデルヴァイススキークラブ 新藤代議員

だいぶ高齢になって痴呆も進み、スキーにいける状況ではなくなってきています。クラブを作ろうと鳴海さんに誘われてから30年がたちました。自分としては寂しい

限りですが「老兵は去り行くのみです」。会員を拡大しなければいつか組織は無くなってしまいます。スポーツがしたくても出来ない社会というのはまともな社会ではないと思います。みんなでもともに働いたらスキーに行ける社会を取り戻す努力をしましょう。

●てんとおむしスキークラブ 長谷川代議員  
ホームページについて

写真を公募して良いものがあればTOPページに掲載したら見る楽しみが増えるのではないかと

講習とかで一緒になった他のクラブ人たちと合う機会が少ないのでホームページ上に掲示板を設置して欲しい。そうすれば情報交換ができて良いのではないかと。

## スキー協の活動の裏づけとなる

# 第43期会費納入のお願い

東京スキー協の総会が終わって2ヶ月が過ぎました、理事会の会場費、電話代、事務所家賃等何かと費用が掛かります。スキー協の財政は、各クラブから納入される会費が中心となります。これから活動を本格的に進めるためにも、早めに会費納入をお願いします。

ゆうちょ銀行の通帳からの振込ですと内容が記載されない場合があります。振込内容をFAXでスキー協にお知らせ下さい。

## 指導員登録と指導員登録料の納入は9月20日まで

指導員・セッター・山スキーリーダー・スノーボード指導員の登録料は9月20日までに納入をお願いします。なを、指導員登録は、会費納入、登録料納入、登録用紙の3つが必要となります。9月20日までに3つを完了してください。

### 振込み先

郵便振込 00110-7-88004 東京都勤労者スキー協議会

振込みの内訳はFAXで送って下さい。

03-3971-4144 または 03-3986-5403



# information

## 教育技術局から重要なお知らせ

現在 2010 年度指導員（スキー、スノーボード）・山スキーリーダー・セッターの登録を 9 月 20 日を締切日として取り組んでいます。

昨年から登録用紙を新しい書式にしました。

全国スキー協のホームページからダウンロードして使用して下さい。

アドレスは：[http://www.mmjp.or.jp/wsaj/information/201008\\_all.xls](http://www.mmjp.or.jp/wsaj/information/201008_all.xls)

エクセルファイルです。「シートで様式 1 1」を選択して下さい。

**また、郵送でお送りした「スキーリーダー」の指導員登録の案内に重大な間違いがあります。メールアドレスが古く、現在使用していないものになっています。**

**お詫びして訂正いたします。**

**誤** [y-yoshida@cpi-media.co.jp](mailto:y-yoshida@cpi-media.co.jp)

**正** [info@tokyoskikyo.org](mailto:info@tokyoskikyo.org)

### 技術部主催

#### ブラシスキー講習会

日 程：2010 年 9 月 25 日(土)～26 日(日)

会 場：丸沼高原スキー場

集 合：初日午前 9 時 スキー場センターハウス前（ゲレンデ側）

解 散：2 日目正午

宿 泊：石窯カフェと宿 Cou 屋（旧名称 ペンション アルフ）

群馬県利根郡片品村丸沼高原 TEL:0278-58-4151 丸沼高原第 2 ペンション村)

参加費：¥17,000／1 泊 2 食、交流会費、傷害保険含む

定 員：10 名

申込み締切：9 月 14 日(火)

申込み先：東京スキー協教育技術局：出崎福男

事務所 TEL/FAX：03-3971-4144／担当者携帯電話：090-4756-8086

同 E-mail：[fukuode\\_ski@jcom.home.ne.jp](mailto:fukuode_ski@jcom.home.ne.jp)

担当者携帯電話：090-4756-8086

## 9月・10月のカレンダー

9月	東京スキー協	全国スキー協	10月	東京スキー協	全国スキー協
1日(水)			1日(金)		
2日(木)	常任理事会		2日(土)	テニス交流会	
3日(金)			3日(日)	〃	
4日(土)			4日(月)		
5日(日)	スキーセミナー		5日(火)		
6日(月)			6日(水)		
7日(火)			7日(木)	常任理事会	
8日(水)			8日(金)		
9日(木)			9日(土)		
10日(金)			10日(日)		
11日(土)			11日(月)		
12日(日)			12日(火)		
13日(月)			13日(水)		
14日(火)			14日(木)		
15日(水)			15日(金)		
16日(木)			16日(土)		
17日(金)			17日(日)	指導員座学	
18日(土)			18日(月)		
19日(日)			19日(火)		
20日(月)			20日(水)		
21日(火)			21日(木)		
22日(水)			22日(金)		
23日(木)			23日(土)		
24日(金)			24日(日)		
25日(土)	プラシスキー		25日(月)	通信発行	
26日(日)	〃		26日(火)		
27日(月)	通信発行		27日(水)		
28日(火)			28日(木)		
29日(水)			29日(金)		
30日(木)	〃		30日(土)		
			31日(日)	交流駅伝	